



# OK たより

大西勝彦

活動報告

No.77

2019年10月  
大府豊幸会  
(事務局) 刈谷市宝町8-1  
豊田自動織機組合会館est内



大府市議会議員  
大西勝彦

## 平成30年度決算 認定！ 家族の大切さ 訴える！

みなさん、こんにちは。大府市議会議員の大西勝彦です。9月議会が終わりました。この議会は、平成30年度の決算を審議する議会でした。また、今回も一般質問に立ち、日本の神話・家族の大切さを訴えました。その概要を報告します。



### 平成30年度決算

### 健全財政を保っているが...

平成30年度決算は、歳入が443億1,965万円、歳出が419億4,866万円、実質収支は15億6,122万円の黒字でした。

#### 【各種決算指標】

財政力指数(3年平均)	1.06(1.14)	「1」を超えると(国からの)普通交付税不交付団体となる。国に依存していない。
経常収支比率	83.5%	80%を超えると財政構造は弾力性を失いつつある。
公債費比率	1.0%	借金返済額の負担率。通常10%を超えないことが望ましい。
実質収支比率	5.7%	余剰金が財政規模から見て適正であるかどうか。概ね3~5%程度が望ましい。

経常収支比率は、依然80%を超え、財政の弾力性が失われつつあります。他の指標はいずれも健全であり、平成30年度決算は概ね良好な状態と言えます。しかし、少子高齢化の進展に伴い、社会保障費等の義務的経費は今後も増加が予想され、引き続き注視していく必要があります。

#### (大西)

私は、以前から、基金の運用状況を「見える化」し、透明性を確保しなければならないと訴えてきた。ふるさとのおおぶ応援基金についても、その用途を公表するべきと訴えた結果、ホームページで公開されるようになった。しかし、文化、子育てなど8つの項目別の残高がわからない。そこでお聞きする。平成30年度末残高、4億852万円の内訳を管理しているか。これらの残高の内訳を公表する考えはあるか。

#### (新美 企画政策部長)

ふるさとのおおぶ応援基金については、現在、8つの分類ごとにその実績をホームページで公開している。基金の残高についても、きちんと内部で管理をしているので、現在公開しているホームページの項目の追加という形で、平成30年度分から早速、公表する。

### トピックス

#### 【仲間の議員(市民クラブ)の一般質問】

##### ☆ 野北孝治 議員

(問い) 空調を含めた体育館の設備の充実について、今後どのようにしていくのか。

(答え) 熱中症対策、災害時避難所の環境整備のため、来年度に全中学校の体育館にエアコンを設置する。その後、小学校の体育館にも設置していく。

##### ☆ 三宅佳典 議員

(問い) 高齢者を対象に後付けの自動車運転安全装置への補助をする考えはあるか。

(答え) 来年度をめどに、高齢者を対象にした後付けの自動車運転安全装置に独自の補助制度を創設する。

##### ☆ 小山昌子 議員

(問い) 高度不妊治療費に助成する考えはあるか。

(答え) さらなる支援として体外受精などの特定不妊治療費助成制度を創設し、来年度から開始していく。



#### 【第6次大府市総合計画 基本構想を議決】

##### ☆ 将来都市像

『いつまでも 住み続けたい サステナブル健康都市おおぶ』

##### ☆ 計画期間

令和2年度(2020)～令和12年度(2030) 11年間

##### ☆ 計画人口

100,000人 [令和12年度(2030)]

##### ☆ 政策目標

『ひと』の健康(2) 『くらし』の健康(2) 『まち』の健康(2) 『みらい』の健康(2) 都市経営 9つの政策目標を掲げている。

#### メルマガ「OKたより」配信中！

お申込みは、

onishi@ma.medias.ne.jp まで

大西勝彦ホームページ

http://www.medias.ne.jp/~onishi/

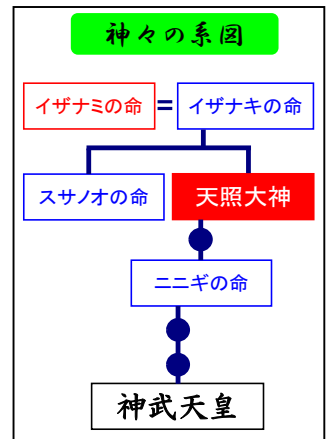
## 日本の神話を 小中学校で教えているか？

(大西)

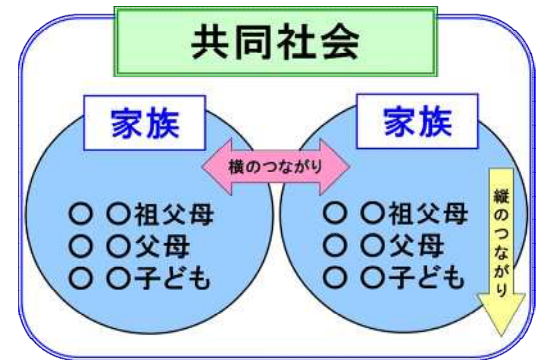
「12、13歳くらいまでに民族の神話を学ばなかった民族は、例外なく滅んでいる」この言葉を遺したのは、20世紀を代表する歴史学者であるアーノルド・ジョゼフ・トインビーである。アダムとイブは知っているが、**イザナキの命とイザナミの命のことは知らない**日本人が多いのではないだろうか。日本の神話は、「古事記」や「日本書紀」「風土記」、さらに民話などにも残されている。私は、これから世界で活躍し、世界に通用するような日本人を育てるためには、**自国の文化や国柄**を知らなければならないと思っている。そしてそれを外国人に話せるような知識を持っていなければ、一人前の国際人とは言えないと思う。そのためには、日本文化の根幹である神話についても、もっと知識として教えていくべきだと考えている。そこで伺います。このような**日本人の原点とも言える神話**を小中学校で教えることについての見解を聞かせてほしい。

(木學 教育部長)

**自分の国に誇りをもち、自国の歴史について語る**ことのできる児童生徒を育成することは重要であると考えている。神話については、学習指導要領にある「神話や伝承を手がかりに国の形成に関する考え方に関心をもたせること」「当時の人々の信仰やものの見方などに気付かせるよう留意すること」に即して、社会科の授業において指導している。

(大西) **家族の大切さを もっと小中学校で教えるべきでは…**

私は、この場で共同社会の大切さ、そしてそれを構成する**家族の大切さ**を何度も訴えている。私の基本理念の中には、**家族を中心とした共同社会**づくりの大切さがある。日本人は昔から家族を大切にして、共同社会を大切にしてきた。社会の中で、**家族は最小単位**であり、共同社会を構成する基礎的な単位でもある。この基礎的な単位である家族を強くすることが、共同社会を構築する上で最も重要な課題となってくる。共同体社会の中では、**家族が大切**なのである。その中でも、多世代で構成される家族、例えば「**三世代家族**」がもっと増えることが望まれる。そこで伺います。小中学校で日本の家族の大切さを教えることについての見解を聞かせてほしい。



(木學 教育部長)

家族は愛情と相互の信頼関係を基盤にした人間形成の基本的な場である。心身の安らぎ、生活の楽しみ、文化や価値観の形成など、子どもたちは家族との関わりの中で成長し、人格を磨いていく。**日本には、日本人に合った日本人ならではの家族の形**もある。小学校の家庭科や中学校の技術・家庭科の学習には、家庭や家族のあり方についての学習がある。

(大西) **神話と家族の大切さを教えることについて 教育長の思いは？**

大府市の教育者のトップである**教育長にお聞きする**。日本の神話や日本の家族のあり方を通して、**日本人の国柄や精神性を教育の場で教えていくこと**についての思いをお聞きする。

(宮島 教育長)

神話とか伝説とかには、**命を受け継いできた今**がある。この命を育んできた、この国の土壌が、そこに自然観とか死生観とか、自分の中に、受け継がれている。今生きてることに係わってくると思う。

家族の問題は、やはり共に生きることの、思いやりとか、寛容さとか、そういうものがそこにはあると思う。そして、郷土愛とか、愛国心というの、一つの大きな要素だが、それを支えるのは、一人の子どもの心の中では全部融合的に動いており、どこまでいっても、子ども自身が自分っていいな、自分が好きだなという、**自己肯定感**が一番大事だと思って、学校の教員をやってきた。

やはり**家族っていいね**、お互いに支え合って、安らぎの場があって、身近なところにそれがあって、人はそれをエネルギーにして生きていくんだよねっていうことは、**子どもたちに伝え続けていきたい**と願っている。血がつながっていても、つながってなくても家族は家族である。家族であるというよりも、**家族になる**。そのための絶え間ない努力は必要なんだということは子どもたちに伝えていきたい。家族の形態が、母子家庭であろうと父子家庭であろうと夫婦二人だけの家庭であろうと、子沢山の家庭であろうと、**形態を問うよりも**、そのことを大事にしていきたいと願っている。

(大西) **子どもたちに 日本人の精神性のルーツを学んでほしい…！**

教育長や教育部長の答弁でも、**形態はともあれ、家族については大切なんだ**と言われた。私もそう思う。ただ今の社会を見ると、いろんなことで、行政だ、あるいは社会だというような、特に行政の責任にしてしまう風潮がある。それも今の社会だからしょうがないのかもしれないが、議員活動をしていていつも思うのは、**家族はどうしたの、家族の姿はどこにあるのか**と違って思う。私はそういう問題意識も持っているので、何度も、三世代家族だとか、家族の大切さを訴えている。

今回も、神話、家族、道徳を取り上げさせていただいたのは、大府市の子どもたちが、将来グローバルな世界で活躍するためにも、**日本人としての精神性のルーツを学んで**おいてもらいたいという思いから、質問させてもらった。

大府市の子どもたちが、日本人としての道徳を身に付けてもらいたいと思っている。しかし、これは、学校教育だけではできない。**家庭・地域が一体となって**無理をせず、自然にやっていくことだと思う。

大府市の教育、子育て環境が、このような形になっていくことを、強く期待して、私の一般質問を終わる。